

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	E・A・F・L
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)			使用副教材等					

目標	(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につける。(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	・技能テスト・タイム測定 ・レポート等の提出物 ・ペーパーテスト	・活動状況 ・提出物	・活動状況

担当者からのメッセージ	体操服は既定のものを着用し、原則として貸し借りはしないものとする。長期見学をする場合は診断書を提出し、見学ノート、レポートを提出する。「水泳」・「長距離走」の授業を見学、欠席した場合は補泳・補走を受けなければならない。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準	
1	4	球技(4月～7月) ソフトボール(男子) バレーボール(女子)	<p>●球技</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。 	
	5	水泳(6・7月) クロール 平泳ぎ	<p>●水泳</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、速く泳いだりすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己やチームの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。 	
	6	体育理論(4～7月)		
	7	スポーツの発展と発祥		

<p>9 10 2 11 12</p>	<p>ダンス(9月) フォークダンス 創作ダンス</p> <p>陸上競技(10月・11月) 長距離走3000m</p> <p>球技(10月～12月)</p> <p>バレーボール(ダンス) ソフトボール(女子)</p> <p>体育理論(10月～12月) スポーツの発展と発祥</p>	<p>●体育理論 【知識】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>●ダンス 【知識・技能】 ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめてたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>
<p>1 3 2 3</p>	<p>球技(1月～3月) サッカー(男子) バasketボール(女子)</p> <p>体育理論(1月～3月) スポーツの発展と発祥</p>	<p>●陸上競技 【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>